

3月定例会を終えて

3月2日から17日までの16日間で開催

新型コロナウイルスの感染が世界規模で拡大し、社会と経済に深刻な影響をもたらしている。鳥根県においても感染者が確認されており、沈静化に向かうまでは、油断することなく町ぐるみで感染予防に努めていきたい。

●福祉施設の人手不足を解消するための施策のひとつとして、外国人学生を雇用しようとする福祉団体に助成金を交付する条例を制定した。福祉環境の充実と町民の福祉向上につながるものと期待する。

●出産から子育て支援の事業をさらに拡充し、年少人口の維持・安定を目指す。
●運転免許を持たない人に、タクシー料金の半額を助成し、利便性の向上を図る。

●災害への日頃の備えの重要性が増しており、頓原防災拠点施設と来島消防防災センターを整備する。昨年の防災訓練でされた意見も反映し、地域の実態に即した災害への備えを進めていく。

●園芸作物の生産拡大と新規就農者の支援として、新たに14棟のリースハウスを整備する。また、高収益作物として路地での白ネギの実証栽培に取り組む。

●ふるさと応援寄付金は、令和元年度1億5000万円弱となる見込みで、3年連続して過去最高額を更新することになる。問い合わせいただく皆様へのサービスを向上させるため、新年度から飯南町観光協会へ委託する。

●「非核平和の町」を宣言することについて、活発な討論がなされ可決した。

可決された主な議案

条例関係

飯南町自動運転長期実証実験に関する条例の制定など 15件

補正予算

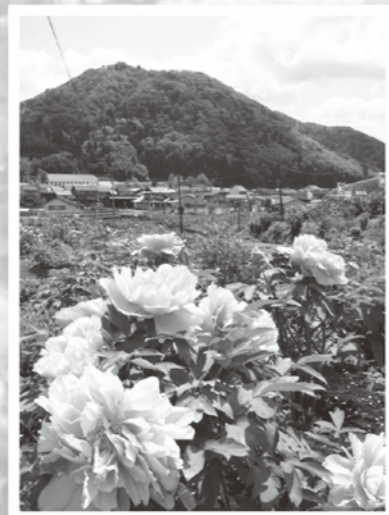
令和元年度飯南町一般会計補正予算(第7号)など4件

予算

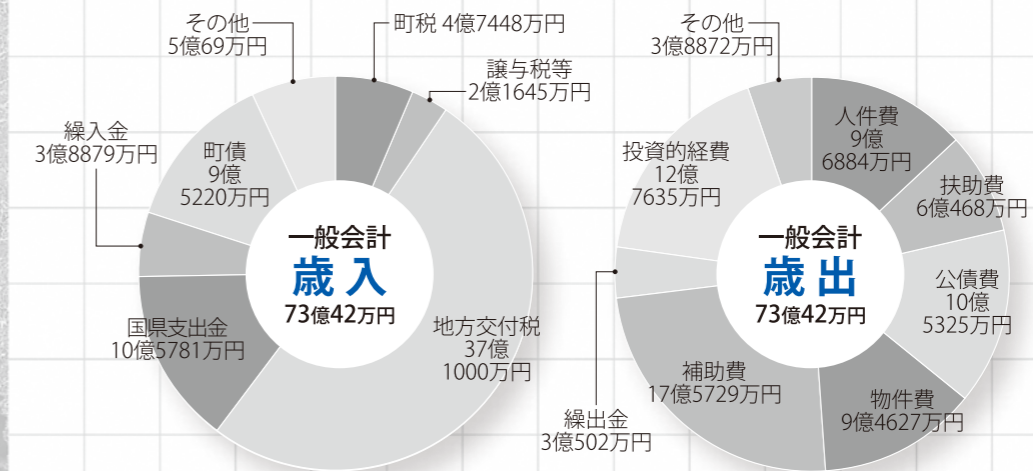
令和2年度飯南町一般会計予算など7件

諸議案

- 飯南町「非核平和の町」を宣言すること
- 公の施設(飯南町ふるさと森)の指定管理者の指定など11件
- 教育長の任命



[令和2年度 一般会計予算]



一般会計・特別会計・事業会計の総額は **102億8252万円**

各会計		予算額
一般会計		73億42万円
特別会計	国民健康保険事業	6億1407万円
	後期高齢者医療事業	1億8041万円
	介護保険サービス事業	3808万円
病院事業		12億8195万円
簡易水道事業		3億3093万円
下水道事業		5億3666万円

[令和元年度 一般会計補正予算]

健康管理システムの導入に係る経費1345万円の増額、降雪量・来場客減少による琴引スキー場の指定管理料2200万円の増額、情報通信基盤(光ケーブル)整備に係る経費1億8200万円の減額、除雪費用1620万円の減額のほか、事業費確定見込みによる減額など

2億6602万円 減額

会計名	補正予算額	予算総額	
一般会計	△2億6602万円	90億7087万円	
特別会計	国民健康保険事業	△330万円	6億5481万円
	後期高齢者医療事業	373万円	1億7296万円
	病院事業	△160万円	12億6388万円